

# TENURE TRACK NEWS LETTER

テニュアトラックニュースレター



2019 March Vol.06

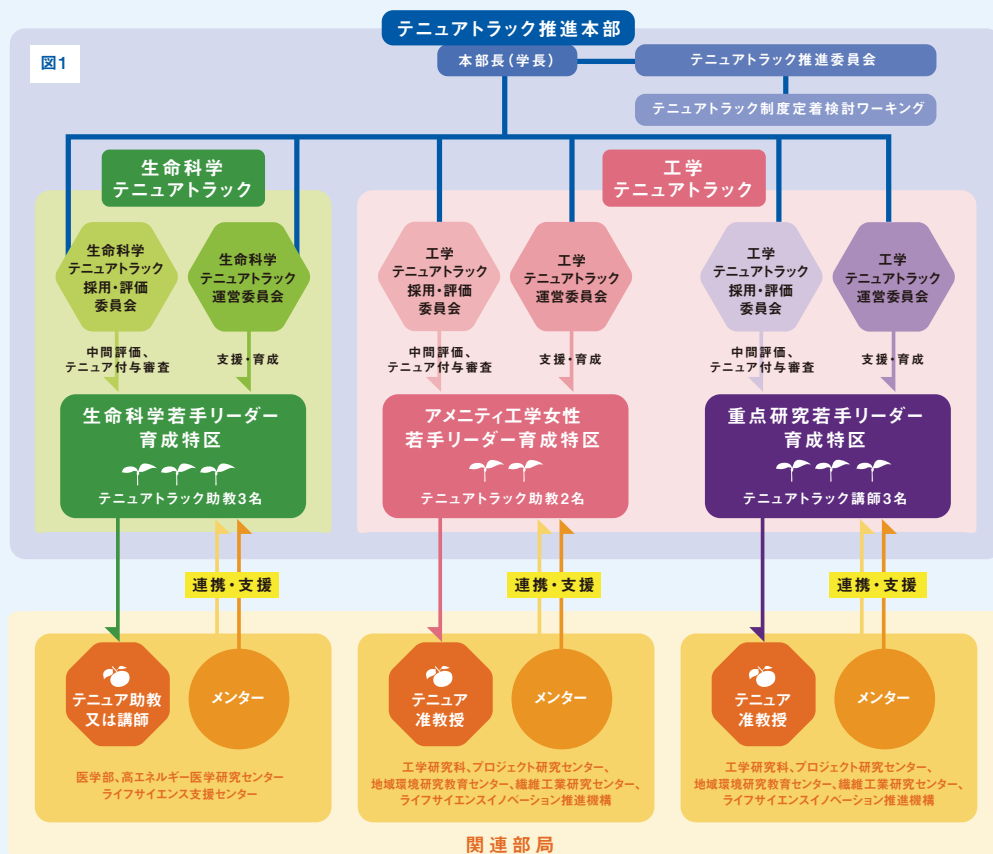
特集 研究者紹介(テニュアトラック教員からテニュア教員へ)

## 福井大学のテニュアトラック制度

福井大学のテニュアトラック制導入は平成23年度に学長を本部長とする「テニュアトラック推進本部」を設置して開始しました。その基に、生命科学テニュアトラック(生命科学若手リーダー育成特区)と工学トラック(アムニティ工学女性若手リーダー育成特区、重点研究若手リーダー育成特区)を置き、事業の推進を図ってきました。

3特区のそれぞれ独立した組織の中で、世界をリードしうる優れた若手研究者を国際公募で広く求め、採用したテニュアトラック教員には、優れた研究環境と十分な研究費を与え、医学部、工学部等学内の関係部局の支援のもと、研究主宰者として自立して研究に従事できる環境整備を行いました。

平成23年度に設置した生命科学若手リーダー育成特区においては平成28年度に、アムニティ工学女性若手リーダー育成特区においては平成29年度に事業が終了しました。重点研究若手リーダー育成特区においては、平成30年度をもって事業が終了します。それぞれ中間評価を経て、生命科学若手リーダー育成特区では1名、アムニティ工学女性若手リーダー育成特区では2名、重点研究若手リーダー育成特区では3名がテニュア審査に合格し、この4月にテニュア教員となる2名を含む6名がテニュア教員となりました。



○運営委員会所掌業務・・・①テニュアトラック教員の支援・育成 ②若手リーダー育成特区の運営 ③審査基準・採用後の評価基準等の設定 ④テニュア審査基準の運用の詳細設定等  
○採用・評価委員会所掌業務・・・①テニュアトラック教員の選考及び採用 ②テニュアトラック教員の活動状況評価 ③テニュア付与審査等業務

## テニュア資格審査

テニュアトラック教員は、大学管理業務等を減免された各特区において、メンターの助言を受けながら、研究主宰者として研究に専念できる環境が与えられています。採用から3年度目に中間評価、4年終了時にテニュア審査を実施しました。

本学では、本事業の普及・定着については、この中間評価・テニュア審査の結果によるところが大きいと考え、中間評価まではテニュアトラック教員が研究に専念できるように配慮し、中間評価以降に主として研究以外の教育面での義務を課しました。



Special  
feature

# 研究者紹介

(テニュアトラック教員からテニュア教員へ)

## 福井大学で採用したテニュアトラック教員数(平成23年度～31年度)

【採用人数】	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
生命科学若手リーダー育成特区	1	3	-	-	-	-	-	-	-
アメニティ工学女性若手リーダー育成特区	-	1	1	-	-	-	-	-	-
重点研究若手リーダー育成特区	-	-	1	2	-	-	-	-	-
各年度のテニュアトラック教員合計数	1	5	7	9	8	6	4	2	0
テニュア教員	-	-	-	-	-	1	1	2	2

生命科学若手リーダー育成特区の1名については、平成26年度中に転出(本学教授に採用)

### 青木 耕史

AOKI KOJI

学位: 博士(医学)



#### Profile

H16年 京都大学大学院 医学研究科  
(21世紀COEプログラム) 研究員  
H18年 日本学術振興会 特別研究員PD  
H21年 京都大学大学院 医学研究科 薬理学教室 助教  
H23年 戦略的創造事業さきがけ研究員兼任  
H24年 福井大学テニュアトラック推進本部助教  
(テニュアトラック教員)  
H26年 3月 福井大学医学部 医学科  
生命情報医科学講座 薬理学領域 教授

#### 研究費

科研費 基盤研究(C) 他

#### 業績

- Blocking LC3 lipidation and ATG12 conjugation reactions by ATG7 mutant protein containing C572S. Nitta A, Hori K, Tanida I, Igarashi A, Deyama Y, Ueno T, Kominami E, Sugai M, Aoki K. *Biochem Biophys Res Commun.* 508(2) 521-526 2019年01月査読有り
- Reducing DNA methylation suppresses colon carcinogenesis by inducing tumor cell differentiation Hatano Y, Semi K, Hashimoto K, Lee MS, Hirata A, Tomita H, Kuno T, Takamatsu M, Aoki K, Taketo MM, Kim YJ, Hara A, and Yamada Y *Carcinogenesis* 36(7) 719-729 2015年 査読有り
- Mitochondrial function provides instructive signals for activation-induced B-cell fates Jang KJ, Mano H, Aoki K, Hayashi T, Muto A, Nambu Y, Takahashi K, Itoh K, Taketani S, Nutt SL, Igarashi K, Shimizu A, and Sugai M *Nature Communications* 10(6) 6750 2015年 査読有り DOI:10.1038/ncomms7750.

### 本田 信治

HONDA SHINJI

学位: 博士(理学)



#### Profile

H16年 3月 東京工業大学大学院 生命理工学研究科  
バイオサイエンス専攻修了(Ph.D)  
H15年 4月 東京工業大学大学院 生命理工学研究科在籍  
日本学術振興会 特別研究員【平成15年4月～平成16年3月(DC2)、平成16年4月～平成17年3月(PD)】  
H17年 4月 米国オレゴン大学 分子生物学研究所 ポスドク研究員  
H23年 12月 米国オレゴン大学 分子生物学研究所 Research Associate  
H24年 4月 福井大学 テニュアトラック推進本部 特命助教  
(テニュアトラック教員)  
H24年 6月 同 助教(テニュアトラック教員)  
H26年 5月 中間評価終了  
H27年 9月 テニュア審査終了  
H28年 4月 福井大学医学部 生命情報医科学講座 染色体機能学  
(テニュア教員助教)

受賞 平成26年度 文部科学大臣表彰「若手科学者賞」

研究費 科研費 新学術領域研究 研究領域提案型(公募研究) 他

#### 業績

- Klocko AD, Uesaka M, Ormsby T, Rountree MR, Wiles ET, Adhvaryu KK, Honda S, Selker EU Nucleosome Positioning by an Evolutionarily Conserved Chromatin Remodeler Prevents Aberrant DNA Methylation in Neurospora *Genetics* 211(2):563-578 (2019)
- Bicocca VT, Ormsby T, Adhvaryu KK, Honda S, Selker EU ASH1-catalyzed H3K36 methylation drives gene repression and marks H3K27me2/3-competent chromatin *Elife* e41497 (2018)
- Jamieson K, McNaught KJ, Ormsby T, Leggett NA, Honda S and Selker EU Telomere repeats induce domains of H3K27 methylation in Neurospora *Elife* e31216 (2018)

### Escaño Mary Clare Sison

学位: 博士(工学)



#### Profile

H24年 9月 大阪大学工学研究科 精密科学・応用物理学専攻修了(Ph.D)  
H24年 10月 大阪大学在籍 日本学術振興会特別研究員(PD)  
H25年 2月 福井大学テニュアトラック推進本部助教  
(テニュアトラック教員)  
H27年 10月 中間評価終了  
H28年 9月 テニュア審査終了  
H29年 4月 福井大学学術研究院 工学系部門 物理工学講座  
(テニュア教員准教授)  
H30年 4月 福井大学学術研究院 工学系部門 遠赤外線領域開発研究センター 准教授

#### 受賞

H28年 Highlight paper, Journal of Physics: Condensed Matter, Institute of Physics, UK  
H29年 Highlight paper, Catalysis Science & Technology, Royal Society of Chemistry, UK

研究費 科研費 若手研究(B) 他

#### 業績

- Mary Clare Sison Escaño, Tien Quang Nguyen, Yu Osanai, Hideaki Kasai, Masahiko Tani. Large-scale spin-polarized DFT calculation of electronic properties of GaAs with defects. *Materials Research Express* 6 (2019) 055914
- Mary Clare Sison Escaño, Nguyen Tien Quang, Hideaki Kasai. Spin-up "pristine-like" Dirac cone in bridge-structure graphene on Ni(111). *Applied Surface Science* 427 (2018) 949
- Ryan Arevalo, Susan Aspera, Mary Clare Sison Escaño, Hiroshi Nakanishi, Hideaki Kasai. Tuning methane decomposition on stepped Ni surface: The role of subsurface atoms in catalyst design. *Scientific Reports* 7(2017) 13963

## 坂元 博昭

SAKAMOTO HIROAKI

学位: 博士(工学)



### Profile

H21年3月 九州工業大学大学院 生命体工学研究科  
生体機能専攻修了(Ph.D)  
H21年4月 立命館大学総合理工学研究機構 博士研究員  
H24年5月 福井大学大学院 工学研究科 特命助教  
H26年1月 福井大学テニョアトラック推進本部講師  
(テニョアトラック教員)  
H28年5月 中間評価終了  
H29年5月 テニョア審査終了  
H30年4月 福井大学学術研究院 工学系部門 繊維先端工学講座  
(テニョア教員准教授)

### 研究費

科研費 若手研究(B) 他

### 業績

• A l-proline/O<sub>2</sub> biofuel cell using l-proline dehydrogenase (LPDH) from *Aeropyrum pernix* Aina Tonooka, Tomohiro Komats, Shino Tanaka, Hiroaki Sakamoto, Takenori Satomura, Shin-ichiro Suye  
Molecular Biology Reports 2018年  
• Characterization of protein adsorption on stretched polyurethane nanofibers prepared by electrospinning Morita Yuko, Sakamoto Hiroaki, Suye Shin-ichiro RSC Advances 260 705-709 2017年12月 査読有り  
• Development of a high-sensitive electrochemical detector with micro-stirrer driven by surface acoustic waves  
Sakamoto, Hiroaki; Kitanishi, Hiroki; Amaya, Satoshi; Saiki, Tsunemasa; Utsumi, Yuichi; Suye, Shin-ichiro SENSORS AND ACTUATORS B-CHEMICAL 260 705-709 2018年05月 査読有り  
DOI:10.1016/j.snb.2017.12.196

## 木曾 久美子

KISO KUMIKO

学位: 博士(工学)



### Profile

H23年 4月 京都大学在籍 日本学術振興会特別研究員(DC2)  
H25年 3月 京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻修了(Ph.D)  
H25年 4月 福井大学テニョアトラック推進本部助教  
(テニョアトラック教員)  
H27年10月 中間評価 終了  
H29年 2月 テニョア審査終了  
H30年 4月 福井大学学術研究院 工学系部門 建築建設工学講座  
(テニョア教員准教授)

### 受賞

H22年10月 京都大学学術創成研究会ポスター  
セッション 最優秀ポスター発表賞

### 研究費

科研費 若手研究(B) 他

### 業績

• スケッチマップにおける建築記号の多義性に着目した共起性の評価—フランシュコンテ大学を対象とした建築記号の解釈としての認知地図の分析—, 日本建築学会計画系論文集, vol.82(No.742), pp.3081-3091, 2017年12月  
• 多義性を考慮したスケッチマップにおける建築記号の共起性についての分析 建築記号群の解釈としての認知地図の分析に基づく建築・都市空間のデザインに関する研究(その3), 日本建築学会計画系論文集, vol.82(No.734), pp.917-927, 2017年4月  
• 共起確率値評価システムに基づくスケッチマップにおける建築記号の共起性の評価 建築記号群の解釈としての認知地図の分析に基づく建築・都市空間のデザインに関する研究(その2), 日本建築学会計画系論文集, vol.81(No.726), pp.1653-1663, 2016年8月

## 鈴木 悠

SUZUKI YU

学位: 博士(工学)



### Profile

H22年 3月 東京農工大学大学院 工学府 生命工学専攻修了(Ph.D)  
H22年 4月 東京農工大学大学院 工学府 特任助教  
H23年 2月 東京農工大学大学院 工学府 助教  
H26年 4月 福井大学テニョアトラック推進本部講師  
(テニョアトラック教員)  
H28年11月 中間評価終了  
H30年 3月 テニョア審査終了  
H31年 4月 福井大学学術研究院 工学系部門  
(テニョア教員准教授)採用予定

### 受賞

H26年度 高分子学会 高分子研究奨励賞  
(テニョアトラック教員)  
H25年度 プラスチック成形加工学会 論文賞

### 受賞

科研費 基盤研究(C) 他

### 業績

• Suzuki, Y., Shindo, H. Binding sites and structure of peptides bound to SiO<sub>2</sub> nanoparticles studied by solution NMR spectroscopy, Polymer J., 50, 989-996 (2018)  
• Suzuki, Y., Shindo, H., and Asakura, T. Structure and dynamic properties of a Ti-binding peptide bound to TiO<sub>2</sub> nanoparticles as accessed by <sup>1</sup>H NMR spectroscopy, J. Phys. Chem. B, 120, 4600-4607 (2016)  
• Suzuki, Y., Kawanishi, S., Yamazaki, T., Aoki, A., Saito, H., and Asakura, T. Structural determination of the tandem repeat motif in *Samia cynthia ricini* liquid silk by solution NMR, Macromolecules, 48, 6574-6579 (2015)

## Asubar Joel Tacla

学位: 博士(理学)



### Profile

H21年 9月 長岡技術科学大学大学院 工学研究科情報・制御工学専攻(Ph.D)  
H21年11月 長岡技術科学大学大学院 博士研究員  
H22年 4月 北海道大学 量子集積エレクトロニクス研究センター 博士研究員  
H26年11月 福井大学テニョアトラック推進本部講師  
(テニョアトラック教員)  
H29年 2月 中間評価終了  
H30年 3月 テニョア審査終了  
H31年 4月 福井大学学術研究院 工学系部門  
(テニョア教員准教授)採用予定

### 受賞

H28年度 応用物理学会優秀論文賞

### 研究費

科研費 基盤研究(C) 他

### 業績

• "AlGaIn/GaN MIS-HEMTs with VTH = +5 V and IDmax > 400 mA/mm achieved using recessed-gate with regrown ultrathin AlGaIn barrier"  
Joel T. Asubar, Shinsaku Kawabata, Hirokuni Tokuda, Akio Yamamoto, and Masaaki Kuzuhara IEEE Electron Device Letters (under revision)  
• "On the presence of Ga<sub>2</sub>O sub-oxide in high-pressure water vapor annealed AlGaIn surface by combined XPS and first-principles methods"  
Mary Clare S. Escañó, Joel T. Asubar, Zenji Yatabe, Melanie Y. David, Hirokuni Tokuda, Yukiharu Uraoka, Masaaki Kuzuhara, and Masahiko Tani Applied Surface Science (under revision)  
• "Spatial distribution of substitutional Mn-As clusters in ferromagnetic (Zn,Sn,Mn)As<sub>2</sub> thin films revealed by image reconstruction of atom probe tomography" (EDITOR'S PICK)  
H. Oomae, H. Shinoda, J. T. Asubar, K. Sato, H. Toyota, K. Mayama, B. Medhiyev, and N. Uchitomi Journal of Applied Physics 125 (2019) 073902





## テニュアトラックニュース

### 2月27日に第7回テニュアトラック制度シンポジウムを開催

若手研究者を育成、支援する福井大学の「テニュアトラック制度」シンポジウムを平成31年2月27日(水)に文京キャンパスアカデミーホールで開催しました。テニュアトラック普及・定着事業でのシンポジウム開催は最後となります。

シンポジウムでは、眞弓学長の開会挨拶後、文部科学省科学技術・学術政策局人材政策課人材政策推進室 楠目聖室長の来賓挨拶に続き、国立研究開発法人科学技術振興機構 科学技術プログラム推進部の榎 敏明プログラム主管が「テニュアトラック制の普及・定着と若手研究者の研究活動」をテーマに基調講演後、テニュアトラック教員からテニュアとなられた本学学術研究院 医学系部門 生命情報医科学講座 薬理学分野 青木耕史教授による「大腸癌幹細胞の制御機構の解明と治療薬の開発」と題した特別講演が行われました。

休憩後、元生命科学若手リーダー育成特区の本田信治 医学系部門助教、元重点研究若手リーダー育成特区 坂元博昭 工学系部門准教授、元アメニティ工学女性若手リーダー育成特区 木曾久美子工学系部門准教授が、それぞれテニュアトラック教員期間での活動や培った経験について話しました。続いて、本学学術研究院工学系部門の福井一俊部門長から、現在、テニュアトラック教員が在席する重点研究若手リーダー育成特区の取り組みを紹介後、テニュアトラック教員の鈴木悠講師とAsubar Joel Tacla講師による研究発表が行われました。

最後に、末信一朗学長補佐から、テニュアトラック制度を、いかに本学に合ったかたちで継続させていくかが今後の課題。この活動が根を下ろしていけるように、一丸となって取り組んでいきたいとの挨拶があり、シンポジウムを終了しました。



眞弓学長 開会挨拶

### 若手教員交流会

シンポジウム終了後、学長補佐、工学系部門長も参加され、テニュアトラックの若手教員を囲んでの交流会が開催されました。若手教員と学内の異分野の教員との交流、また、他機関の参加者との情報交換も行われ、部門や世代を超えて和やかな交流会となりました。参加者は講演や研究発表、交流会を通して、知識や情報を交換することでテニュアトラック事業の理解をより一層深めました。



若手教員との情報交換会

### 編集後記

「NEWS LETTER」をご覧いただき、ありがとうございます。

本学のテニュアトラック普及・定着事業の助成期間は平成30年度で最終となり、テニュアトラック教員は全員テニュア教員として巣立っていかれます。「NEWS LETTER」も最終号となり、テニュアトラック事業の理解促進への貢献の一つの節目を迎えました。

本事業に関わった全ての方の温かいご支援とご協力を深く感謝申し上げますとともに、テニュア教員となられた先生方のますますのご活躍を祈念し、最後の編集後記とします。

[ お問い合わせ ]

**福井大学テニュアトラック推進本部**

〒910-8507 福井市文京3丁目9番1号 TEL:0776-27-9723

URL: <http://tenure.u-fukui.ac.jp/top.html> E-mail: [rp-sinkou@ml.u-fukui.ac.jp](mailto:rp-sinkou@ml.u-fukui.ac.jp)

